

---

# 非現実戦線

A-9

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

非現実戦線

### 【コード】

N3209C

### 【作者名】

A-9

### 【あらすじ】

何が発端だったかはもう覚えていないが、この国は戦争を始めた。

妻が家を出てもう半年になる。

何が発端だったかはもう覚えていないが、この国は戦争を始めていた。

私の妻は、赤紙を受け取ったのだ。

今の時代は女が強く、人間本来の生きる力を持っているとかで、率先して戦場に赴き、第一線で活躍すべきは女であるという。

そうして、結婚してたった一年と少し、ようやく落ち着き始めた二人の生活は終わった。

初めの何ヶ月かは毎日、寂しい、会いたいとメールを送ってくれた。

しかし、今は数日に一度、近況を知らせる内容が届くだけ。戦場という事情もあるだろうが、彼女は私に頼らない、己の道を見つけたようだ。

私は空き缶やビニール袋に侵略された、薄暗い部屋の中でテレビを付ける。

ニュースによると、我が国の女性軍はよく統制も取れ、見事な戦果を挙げているという。

かつては待つ事が女の戦いなどと言われていたが、今や、待つ女はいない。残された男も、かつての女のような気高い意味で待つ事はできていないのだ。

そう思うと、確かに女は強く、生きる力を持っていたのかもしれない。

マナーモードの携帯電話が机を揺らし、メールの着信を告げる。

それは妻の帰国を知らせる内容だった。

ついこの前までは国外にいた彼女だが、来る防衛戦に備え、今は北海道に向かっているという。

日本家屋が懐かしいと絵文字が踊る。

我が国が戦場になるとでも言うのだろうか。しかし、戦いが始まれば、勝利の時まで特産品はお預けになるに違いない。

大変なことだ。蟹でも鮭でも、今の内に食べておかねばなるまい。夕食を決めた私は、久々のご馳走への期待に胸を躍らせながら買い物に出かける。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3209c/>

---

非現実戦線

2010年10月21日04時29分発行